

すべては 水辺の事故ゼロ のために 公開 Water Safety教室

「ライフセービング サポーター講習会 Water Safetyプログラム」

～公益財団法人日本ライフセービング協会記者発表～

2019年 5月25日 土曜日 15:00-16:50(受付14:30)

会場：港区立 赤坂小学校屋内プール 港区赤坂 8-13-29 港区立赤坂小学校地下1階

*プール専用の入口からお入りください

● 15:00-15:15 協会記者発表

登壇者/ 理事長 入谷拓哉 (イリタニ タクヤ)、他 協会役員 (予定)

● 15:15-15:30 集合写真撮影&全体インタビュー

対象者/公益財団法人日本ライフセービング協会役員
公益財団法人日本水泳連盟・公益社団法人日本トライアスロン連合
一般社団法人日本サーフィン連盟 派遣選手

● 15:30-16:30 公開Water Safety教室 (小学生対象)

インストラクター 飯沼 誠司 (イイヌマ セイジ)
日本ライフセービング協会指導員・スーパーバイザー

指導補助予定者 元競泳自由形選手/山口美咲さん
トライアスロン/岸本新菜選手
サーフィン/大村奈央プロ

● 16:30-16:45 インタビュー対応 (講習会後の個別メディア対応)

対象者/インストラクター、指導補助予定者



知ってほしい!
自分でできる
Water Safety



夏前のこの時期に、自分でできる水辺の安全対策を伝えたい



取材お申込・お問い合わせ

日本ライフセービング協会事務局 中山 TEL.03-3459-1445 (平日12:00-18:00)

E-mail: press@jla.gr.jp 当日お問合せ: 中山 090-3221-8544

●取材は事前にお申し込みの上、当日受付(14:30~)をお願いいたします。

●会場内、駐車場(近隣コインPご利用ください)・電源・通信設備はございませんのでご了承ください。

5月23日（木）締め切り

FAX返信先 日本ライフセービング協会事務局 03-3459-1446

5月25日（土）公開 Water Safety教室 取材申込

～日本ライフセービング協会記者発表～

お申込媒体	媒体名 or 番組名		
	フリガナ		代表者連絡先（携帯電話など）
ご担当者	お名前 (取材代表者)	様	
		E-mail	
	所属会社		会社電話
			会社FAX
	取材当日連絡が取れる携帯電話		
取材当日の予定	来場総勢人数_____人	<input type="checkbox"/> 写真撮影 <input type="checkbox"/> 映像撮影 <input type="checkbox"/> インタビュー <input type="checkbox"/> その他 *詳細は最後へご記入下さい	
掲載予定日 放映予定日	_____年_____月_____日（_____）発売・放映 放映時間_____：_____予定		
取材・撮影にともなう媒体概要と希望内容（対象）を簡単にお書き添え下さい。			



取材お申込・お問い合わせ

日本ライフセービング協会事務局 中山 TEL.03-3459-1445（平日12:00-18:00）

E-mail : press@jla.gr.jp 当日お問合せ：中山 090-3221-8544

●取材は事前にお申し込みの上、当日受付（14:30～）をお願いいたします。

●会場内、駐車場(近隣コインPご利用ください)・電源・通信設備はございませんのでご了承ください。

【ライフセービング】90秒に1人への挑戦

ライフセービングとは、人命救助を本旨とした社会的活動であり、一般的には水辺の事故防止のための実践活動として普及・発展してきました。ライフセービングは単に救命活動のみで完結するものではなく、救命の実践を重ねながら自他の生命を見つめ、すべての生命に対して「慈しみ」を有する活動で、その活動の根本にあるものは生命の尊厳です。

世界保健機関（World Health Organization : WHO）の報告によると、世界中で「90秒に1人」の割合で、毎年30万人以上の人々がその尊い生命を溺死によって失っているといわれています。国際ライフセービング連盟（International Life Saving Federation : ILS）は、WHOの公認団体としてこの受け入れがたい事実を受け止め、ライフセービングの普及を世界へ訴え続けています。

ライフセービングの活動は、溺れたものを救うという救助活動から、溺れない安心な環境をマネジメントすること、さらには日常生活の危機管理も含めて、総合的に安全を提供できる活動としても大きな期待が寄せられており、ライフセービングを通じて人と人が支えあい、安心して暮らせる社会の仕組みづくりに貢献していくことも大切な使命です。

世界唯一のライフセービング国際組織である国際ライフセービング連盟（ILS）の日本代表機関として、日本ライフセービング協会（Japan Lifesaving Association : JLA）は2001年にNPO法人となり、歴史を経て2019年より公益財団法人日本ライフセービング協会として新しいスタートを切りました。同時に19都道府県協会が設立され、全国のライフセービングクラブとともに、資格を持つ認定ライフセーバーが活躍してまいります。水辺での人命救助・監視活動はもちろん、水辺で安全安心に過ごすことができるWater Safetyの啓蒙、さらには学校教育への普及・導入など、水辺の事故から犠牲者を一人でもなくすべく、JLAは「人と社会に変革をもたらす」法人として、「教育」「救命」「スポーツ」といった領域における生命尊厳の輪を普及していく社会貢献活動を行っています。

【Water Safety 講習会】

JLA ACADEMY では、様々な資格講習会を実施しており、ライフセーバーを育成しています。また、広く一般国民の皆様へ向け、水辺において自身を守ることでできる知恵や技能を伝えることが目的のWater Safety講習会や、バイスタンダーによる一次救命処置の知識と技術を取得できるBLS講習会を実施しています。今回皆様へご覧いただく「ライフセービング サポーター講習会 Water Safetyプログラム」はWater Safety講習会の体験版で、無料でどなたにでも受講いただけるものです。ご自身が溺れない「危機回避能力」を身につける一方で、指導的な立場にある方（教員や水泳インストラクター、各種マリンスポーツインストラクター等）にとっては、実践的なプログラムとしての展開、運用につながる水辺の安全基礎プログラムの導入にもなっています。GWが過ぎ、さらに水辺のレジャーが楽しめる季節を前に、ぜひ広く皆様へWater Safetyの概念を普及したく、公開講習会を実施いたします。

Water Safety講習会は、25m以上泳げる健康な12歳以上（小学生を除く）の皆さんへ受講いただけます。体験版の無料で受講できる「ライフセービング サポーター講習会 Water Safetyプログラム」は、受講対象者に合わせてインストラクターがアレンジしますので、小学生でも気軽に参加できます。

**あなたにも
出来る！
自分自身が
溺れない
ために**

**もしも
溺れている人を
見つけたら？**

**水に入らないで
助ける！**

2019年5月
日本ライフセービング協会

公開講習会

ライフセービング

もしもおぼれて
見つけたら？
ライフジャケットを
着てみよう！



スポーツ選手と一緒に
やってみよう！
水の中で歩く
浮く・回転する!!



インストラクター
いぬま せいじ
飯沼 誠司

2019年 5月 25日 (土) 15:30-16:20 (集合 15:00)

Water Safety 教室

ライフセービングウォーターセーフティ サポーター講習会

無料

ライフセーバー飯沼誠司の指導による、ライフセービングサポーター講習会です。水辺のスポーツ「トライアスロン」「水泳」「サーフィン」の選手の皆さんが、一緒にプールでアドバイスしてくれます。

【参加対象】 港区の小学校に通っている自力で25m泳げる健康な小学生 10名（保護者の方がお申し込みください）

開催日：2019年5月25日 土曜日

開催地：港区立赤坂小学校屋内プール（港区赤坂八丁目13番29号地下1階）

問合せ：日本ライフセービング協会 03-3459-1445（平日12:00-18:00）

*当日、保護者の方も一緒にご来場ください。

*応募いただいた皆様の中から厳選な抽選の上、参加当選された方には、ご記入のメールアドレスへ当日のご連絡を送信させていただきます。

*お申し込み締切 5月21日 火曜日

*お申し込みいただいた個人情報は、5月25日の講習会についてのご連絡以外では一切使用いたしません。

【お申込】 下記の申込フォームよりお願いします。
<https://forms.gle/tbu24EfoDHxJ8uC6>

こちらのQRコードより
お申し込みください→



【お断り】 公開講習会のため、当日は報道カメラ、取材が入ります。媒体写真や動画がメディア、または協会プロモーション等により公開されることがございます。あらかじめご了承の上、お申し込み、ご参加ください。当日プログラム内容が変更する場合がございます。



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

主催 / 公益財団法人日本ライフセービング協会 後援 / 港区教育委員会
<https://jla-lifesaving.or.jp/>